

投資事業評価調書（継続）

部課室名	街 路 課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路課長 足立 眞清 (丸岡 剛)	内線	4474 (4480)
事業種目	街路事業	事業名	事業区 間	総事業費	136億円
		都市計画道路建石線 (南郷工区) (県道大沢西宮線)	西宮市神楽町 ～南郷町	内用地補償費	61億円
所 在 地			事業採択 年度	着工年度	完成予定 年 度
西宮市神楽町～南郷町			H 6	H 6	H 1 9
事 業 の 目 的			事 業 内 容		
西宮市中心市街地の交通渋滞の解消 西宮市中心部と北部市街地を結ぶ主要南北 幹線道路であり、渋滞交差点解消プログラムに 位置づけている寿町北及び神楽町交差点を含 む市街地の渋滞解消を図る。 歩行者等の安全確保 歩道の整備により、歩行者等の安全を確保す る。 避難路の早期整備 阪神淡路大震災で多大な被害を受けた沿道の復 興を促進し、緊急時の避難路となる街路を早期に 整備する。			道路改築 L = 797m ・現道の拡幅（4車線化） ・右折レーンの設置 ・自転車歩行者道の設置 ・鉄道交差点部拡幅（跨道橋）1箇所 現況幅員：2車線+2.0m片側歩道、W = 5.8m(8.8m) 計画幅員：4車線+3.0m両側歩道、W = 12m(20m) 用地買収面積 A = 9,365㎡		
進捗状況	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道敷地以外の用地買収は全て完了している。</li> <li>・現在、電線共同溝を含め全面的に工事を展開している。</li> </ul> <p>経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業着手後、JR東海道本線との交差点部で、JR西日本が新駅設置構想を発表したことから、地元との工事調整等に日時を要したが、現在は、地元了解を得て架道橋工事を進めている。</li> </ul> <p>今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年秋には阪急神戸線付近約603mの区間の供用開始を行う予定である。</li> <li>・JR架道橋部分については、平成19年度の完成を目指している。</li> <li>・鉄道敷地の用地は、鉄道交差点部の工事に併せ処理する。</li> </ul>				
評価視点	評価結果の説明				
(1)必 要 性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地を南北に貫く道路であり、避難路として位置づけられていることから、早期整備が必要である。</li> <li>・現道は歩道が未整備で、交通量も多く事故が多発しており歩行者等の安全性を早期に確保する必要がある。（平成14年度人身事故率491.8人/億台・km）</li> </ul>				
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿道は住居系の土地利用が進んでおり、また阪急・JR・阪神の鉄道軸を連絡する幹線街路であることから、沿道地域の活性化への貢献は大きい。</li> </ul>				
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高木植樹やレンガ舗装を行うとともに、電線類の地中化を行うことにより、快適でゆとりのある自転車・歩行者空間を確保する。</li> <li>・コミュニケーション型の県土づくりとして、地域住民が主体となって、沿道の「まちかど広場」の計画づくりを行ってもらい、維持管理にも参画してもらっている。</li> </ul>				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段階的に供用開始を行い、事業効果の早期発現に努めている。</li> <li>・用地取得が98%であり、事業完了の見通しが立っている。</li> <li>・費用便益比 B/C = 2.2</li> </ul>				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺は夙川緑地等の住居環境に優れたところであるため、車道舗装は排水性舗装を設置し、歩道部も透水性レンガ舗装を行うこととしており、景観等の沿道環境の保全に努めている。</li> </ul>				
(4)優 先 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通渋滞の解消と歩行者等の安全を早期に確保するため継続して事業を行う必要がある。</li> </ul>				
再評価の結果	継 続	左の理由	上記理由により継続が妥当である。		